

【出版案内】

「環境都市のデザイン」

— 環境負荷の小さな都市システムを実現するための100の方策 —

監修＝建設省都市局都市計画課／編集＝(財)土地総合研究所・環境都市研究会

発行＝(株)ぎょうせい

B5判・定価4,200円(本体4,078円)

人間を取り巻く環境は、全ての人間が共有する大きな有形無形の財産である。環境の状態や質がうるおいと美しさに満ち魅力的なものであることは、我々共通の願いであり、21世紀に向けて、豊かな環境を損なうことなく、後の世代に継承していくことは、我々の重大な責務である。

都市化の進展により既に人口の相当部分が都市に居住している我が国において、とりわけ大きな課題は、都市における環境のあり方である。人間活動の場としての都市が高度な社会経済機能を有し、様々な利便性を提供する一方で、資源・エネルギーの大量消費地であり、大気、水、土壌等の物質循環の中で環境へ大きな負荷をかけ続けている状況から見て、今日、環境に関わる問題は、すぐれて都市の問題であるといえることができる。

以上のような問題意識から、(財)土地総合研究所において、研究会(座長：伊藤滋慶広義塾大学教授)が設けられ、都市計画に基づく環境負荷の小さな都市システムについて検討が行われた。

本書は、本研究会におけるこれまで数次にわたる検討に基づいてまとめられたものであり、現在の都市環境問題を平易に説明しながら、都市計画に基づくその解決の指針及び数多くの国内外の取り組みを提示するものである。

目次

第Ⅰ部 環境負荷の小さな都市システムの構築に向けて

第1章 総論

第2章 環境負荷の小さな都市づくりに向けて

第3章 具体的な提案

第4章 都市計画上講ずべき当面の施策

第Ⅱ部 都市における環境問題

第1章 都市を取り巻く今日的状況

第2章 環境問題を考えるポイント

第Ⅲ部 環境負荷の小さな都市システムを実現するための100の施策

(100の施策体系図)

第1章 マスタープラン・基礎調査

第2章 土地利用

第3章 緑地

第4章 良好な水環境の形成

第5章 都市交通

第6章 省エネルギー・リサイクル

第7章 市民レベルの貢献